

平成26年8月19日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 執行役員 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

Group Lease は下半期に大きく反転を目指す

当社グループでタイ王国にてオートバイファイナンスを展開する Group Lease PCL (以下 GL) は、8月14日に第2四半期決算を発表し、今年度下半期には大きく利益を押し上げる見通しであるとウェブサイト上にリリースいたしましたので、お知らせいたします。

以下 GL ニュースリリースより (訳文)

記

Group Lease は下半期に大きな好転を期待

タイ証券取引所 (SET) 上場オートバイリース社 Group Lease PCL (以下 GL) は、昨日8月14日に第2四半期決算を発表、前年同期比急激な減益となった業績を開示しました。しかし、同社の経営陣は、既に最悪期は脱しており、タイとカンボジアで全面的な事業の改革が進んでいることから、業績改善が今年度下半期には大きく利益を押し上げる増益効果をもたらす見通しであると説明しました。

「我々は第3四半期から収益が大きく改善されると予測しています。第3四半期には、GLが6月に買収した Tanaban 社の連結が開始される上に、カンボジアでの事業が利益に貢献し始めるからです。」と、GL 会長兼 CEO 此下益司氏は話しました。

GL が Tanaban 社の貸付残高 15 億バーツを手に入れたことによって、GL の貸付残高は 62 億バーツ以上に拡大しました。また、この買収により GL は、より利益率の高い中古オートバイ金融 (“motor-for-cash”) 市場へ新たに参入するチャンスを得ました。加えて、カンボジア事業 (GL Finance (GLF)) からの利益貢献も期待できるため、今下半期は大幅な利益増加が見込まれます。

「今年度の利益は 3 億バーツを上回るであろう。2012 年に記録した過去最高利益 3 億 5,738 億バーツを更新することはできないが、今年上半期の業績低迷を大きく改善することは間違いないだろう」と此下会長は述べました。

昨日 (8月14日) のタイ証券取引所 (SET) での開示では、第2四半期に連結純利益 694 万バーツで、前年同期比 92.36%落ち込む大幅減益となりました。この減益は貸倒引当金繰入額が前年同期 8,636 万バーツから、56.63%増の 1 億 3,527 万バーツを計上したことが主な原因となっています。

5月の軍主導での政権交代によって状況は改善されました。しかし、その前までの政治的不安定及び経済不況が長期化してしまったことによって顧客からの支払延滞が増えることに伴い、第1四半期に続き、第2四半期にも高額の貸倒引当金を計上したとGLの責任者は説明しました。

また、GLによると、この貸倒引当金繰入は主にタイ事業で計上されており、カンボジア事業においては、繰入金額はわずか2百万バーツで、非常に良い貸付ポートフォリオであることを示唆しています。

政治的不安定及び経済不況の悪影響があるなかでも、GLのリース事業は今第2四半期の利息収入からの売上高（連結）において、前年同期比19.69%増の3億6364万となり、売上高は拡大し続けています。「こういった低迷期でも継続的に事業拡大を行うことは、将来の利益拡大のための主要な基盤であります」と此下会長兼CEOは話しました。

※原文に関しましては、以下URLをご参照ください。（英文）

<http://gl.listedcompany.com/newsroom/20140814-gl-pr01-en.pdf>

以 上